



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第9号

令和5年9月21日

発行・文責：校長 渡邊 賢

<六中HP>



## 全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策

全国の中学3年生を対象に実施した今年度の「全国学力・学習状況調査」の本校の調査結果の概要を、まとめました。今後の対策と併せて報告します。

### 1 調査の目的

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を明らかにするとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### 2 実施生徒

国・公・私立学校の中学校3年生の全生徒（約893,000人）

### 3 実施日

令和5年4月18日（火）

### 4 調査内容

#### ①教科に関する調査（国語・数学・英語の3教科の学力調査）

- ・各教科において、身につけておくべき内容や実生活において活用できることが望ましい知識、技能
- ・知識、技能を実生活に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力

#### ②質問紙調査（学習状況調査）

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問

### 5 教科に関する調査（学力調査）結果の概要と今後の対策について

#### ①各教科の平均正答率と全国平均（公立）との比較

	国語	数学	英語
全国平均との比較	10ポイント以上 下回っている	10ポイント以上 下回っている	10ポイント以上 下回っている

#### ②各教科の分析

##### 【国語】

- ・全15問における国語の学習指導要領の内容ごとの正答率と全国平均（公立）との比較

「言語の特徴や使い方に関する事項」…10ポイント以上、下回っている

「情報の扱い方に関する事項」…10ポイント以上、下回っている

「我が国の言語文化に関する事項」…10ポイント以上、下回っている

「話すこと・聞くこと」…10ポイント以上、下回っている

「書くこと」…10ポイント以上、下回っている

「読むこと」…10ポイント以上、下回っている

- ・出題の趣旨ごとに分析すると

「目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる」「意見と根拠など情報と情報との関係について理解している」「聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる」「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる」について、特に課題がみられました。

##### 【数学】

- ・全15問における数学の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均（公立）との比較

「数と式」…10ポイント以上、下回っている

「図形」…5ポイント以上～10ポイント未満、下回っている

「関数」…10ポイント以上、下回っている

「データの活用」…10ポイント以上、下回っている

- ・出題の趣旨ごとに分析すると

「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる」「四分位範囲の意味を理解しているか」「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」「事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる」「ある事柄

が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」について、特に課題がみられました。

## 【英語】

- 全22問における英語の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均(公立)との比較
  - 「聞くこと」……………5ポイント以上～10ポイント未満、下回っている
  - 「読むこと」……………10ポイント以上、下回っている
  - 「書くこと」……………10ポイント以上、下回っている
  - 「話すこと」(やりとり)……………±5ポイント未満の中に入っている
  - 「話すこと」(発表)……………±5ポイント未満の中に入っている
- 出題の趣旨ごとに分析すると
  - 「情報を正確に聞き取る、読み取ることができる」「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる」「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る、読み取ることができる」「社会的な話題について、短い文章、短い説明の要点を捉えることができる」について、特に課題がみられました。

## 6 質問紙調査(学習状況調査)から明らかになった本校生徒の傾向について

### ①全国と比較して良かった(5ポイント以上、上回っている)質問項目

- 朝食を毎日食べている。
- 先生は、よいところを認めてくれている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたい。
- 1, 2年生のときに受けた授業で、タブレットなどのICT機器を使用した。
- 学習の中で、タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思う。
- 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んだ。

### ①全国と比較して良かった(10ポイント以上、上回っている)質問項目

- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- 新聞を読んでいる。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。

### ②全国と比較して課題のあった(10ポイント以上、下回っている)質問項目

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。                      • 将来の夢や目標をもっている。
- 友達関係に満足している。                                      • 読書は好き。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、どれくらいの時間、勉強をしますか。
- 1, 2年生のときの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた。
- 1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。

## 7 まとめ(今後に向けて)

教科(国語・数学・英語)に関する調査については、いずれも全国平均に比べ、10ポイント以上下回る結果となりました。質問紙調査(学習状況調査)においては、多くの生徒が自己肯定感をもって学校生活を過ごしている結果となりました。

今後は、教科における課題と、質問紙調査で明らかになった「休日平日を問わず、計画を立てて、家で勉強する時間の確保ができていない」という課題の解決に向けてICT機器の活用を推し進め、日常の学習活動が、より主体的となるよう授業改善に取り組み、生徒一人一人の家庭学習の自主的で継続的なものとなるよう、課題解決を図っていきます。宿題や家庭学習を継続的に行うためには、小学校低学年からの生活習慣が大切です。ご家庭からのご理解とご協力をいただき、家庭と学校の同一歩調のもと、子どもたちへの指導を行っていきたくと考えます。

さらに、明らかになった課題や生活状況の実態を踏まえ、今後の学習指導や生徒指導の改善につなげていきたくと考えます。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。